

プロポーザルにあたっての質問事項

2022/5/26現在

番号	質問内容	回答
1	道内エリアによっても、積雪・寒冷時期が異なるが、“積雪寒冷条件下”としてイメージされている時期があればご教示いただきたい。（例：12月～2月等）	零下で積雪がある環境を想定しており、具体的に何月との想定はない。 本実証は、道内で冬季のドローン活用を促進することが目的であり、道内各地域の環境に鑑み、効果的と思われる提案をしていただきたい。
3	ユースケースの「①防災・減災対策」とあるが、被災時の避難呼びかけや物資輸送、被災状況確認、遭難救助など幅広く、どのようなものを想定しているか。	道庁としては、例示いただいた避難呼びかけや物資輸送、被災状況確認、遭難救助にはドローンが活用できると考えているが、それ以外の道庁が想定していない用途をユースケースとして設定することを排除するものではない。
2	ユースケースの「③道有施設（道有林や道路、河川等）の維持管理等、“社会インフラ”の維持」とあるが、道有施設以外の民間が所有・管理する社会インフラにおけるユースケースでも可能か。（例：鉄道、電気、ガス等）	道有施設は例示であり、民間であっても冬季に想定される社会インフラの維持であれば問題ない。 一方で、道有施設の維持管理は冬期の活用が見込まれる分野なので、それにも成果が応用できるような実証が望ましいと考えられる。
4	複数箇所での実証とされているが、何カ所程度を想定されているか。2カ所でも問題はないか。	想定する箇所数はないが、本実証の成果が道内全域で参考になることが重要であり、その観点から複数箇所として指定している。 よって、実証地は多い方が参考になりやすいと考えられるが、例えば2カ所であっても、その結果が様々なケースを網羅していて、道内全域での活用に十分に資するという提案も考えられる。
5	コンソーシアムの設立にあたり、代表が道内企業であればよく、道内に支店のない道外企業が構成員となっても問題ないとの認識でよいか。	その認識で問題ない。
6	ユースケースについて、①～③以外にも「公益性が高く、高い効果が期待できる分野の実証についても検討すること」とあるが、観光はそれに該当するか。	観光分野は、公的団体の関与もあり、地域振興につながっていくものであり、該当すると考えられる。